

時間という川の中で、  
繋がる

出演  
加藤千果  
津田寛治  
斎藤厚  
結城朋子  
竹下聖浩  
木上祐正  
河村宏正  
金沢咲優  
中田達幸  
高橋瑞佳  
河野翔太  
新宮風香  
三成華鈴  
松永将典  
山本拓平  
大森幸平  
堀内正美

すいめん

# 水面のあかり

S U I M E N N O A K A R I



脚本・監督…渡辺シン 制作総指揮…金延宏明 プロデュース…赤松 亮  
脚本協力…石田摩耶子 撮影師…長田勇市 (JSC) 音楽プロデュース…小松健祐 音楽…尾花由佳理 主題歌『微睡』作詞…小林良作  
作・編曲:小松健祐 歌…亜聖 樹 製作協力…公益財団法人・関西カウンセリングセンター テンロク・ムービー・プロジェクト  
製作・著作…「水面のあかり」製作委員会 (2017・カラー・70分)

# あなたの前世は誰ですか。

医療業界紙の記者森下あかりは幼い頃父を亡くし、未来にも希望を見出せずにいる。ある日、あかりは取材先で催眠療法の権威である松本教授の退行催眠を受ける。それにより自分の前世が桃山時代の少女ゆきだと知り、一路京都へ。京都・山崎の地は1596年慶長伏見大地震の被災地でもある。歴史資料館の職員、早川の協力を得たあかりは、夢の記憶を頼りに、川をさかのぼってゆく…。それは現在の自分を探る旅でもあった。(カラー・70分)

## 解説・特別寄稿 石井岳龍(映画監督)

何の為にそれが存在しているのか未だに定かではないが、人間は意識の奥に広大な無意識という領域を持つ。そこに貯蔵されている現在の私を越えた原始からの命の記憶。連綿と受け継がれた曖昧で混沌とした未分化な情報は、協調や分別が必要な日常生活には逆に邪魔になるが、時に夢や第六感などで何か大切なメッセージを送ってくる。水の源が大地の奥で複雑に豊かに繋がっているように、無意識は血の繋がりを越えてどこかの奥で他者と繋がっていたとしても全然不思議ではない。

地下水脈を静かに豊かにたたえる洞窟のような暗闇と、その水面のスクリーンに展開する光と影である映画は、人間の無意識とその繋がりのドラマ、光と影を写し出すのに実にふさわしいメディアである。

日本を代表する水の里、山崎で、不可思議な人と人の繋がりをめぐる映画がここに紡ぎだされた。

黙々と無意識の研究を続ける堀内正美、亡き妻と子への想いを偲び続ける津田寛治、受け継いだ旅館を守った先祖を慕い続ける結城市朗。寡黙に耐えるように何かを守り続ける男達の姿に、渡辺シン監督の姿を重ねた。

## 震災、コロナ…幾多の苦難をこえて

東日本、そして阪神淡路での震災の記憶を基に、幻想映画として企画された本作には多くの映画人の参加しています。主人公森下あかりには、本作が映画初主演となる加藤千果。彼女を支える学芸員、早川に「シン・ゴジラ」「アウトレージ・最終章」最近作「ONODA一万夜を越えて」など今や日本映画に欠かせない顔、津田寛治。また、実相時昭雄監督との親交、多くの支援活動でも知られるベテラン、堀内正美(最近作「信虎」など出演多数)。日本映画の黄金時代を知る大ベテラン、結城市朗。ほかに齊藤厚、木下聖浩、竹田朋子…多くの俳優が作品を支えます。撮影は「ウォーターボーイズ」長田勇市。製作総指揮に「シャニダールの花」プロデュースを「あかりの里」の赤松亮がそれなる渡辺シン。映像で綴る、哀悼と再生の物語となっています。

正直、人々の出会いが偶然過ぎるのに最初は乗り切れなかった。だが、命や時間、歴史や人の一生というテーマが迫りあがってくるにつれ、その志にひどく心を揺さぶられた。最後には凜とした映画の佇まいにのめり込んでいた。

瀬々敬久(映画監督)

2021.11/20(土)～26(金)  
限定レイトショー公開決定!

★上映時間は劇場に御確認下さいませ。

新宿駅東南口階段下 甲州街道沿ドコモショップ左入ル

新宿 K's cinema

03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com

各回入替・全席指定席

